

Ⅱ 期意識調査項目

| | | |
|---|--|---|
| 1. 共創性① | | 周囲の状況を見て、的確な行動をとることができる |
| | | 必要に応じて他者と協力して活動を進めることができる |
| | | それぞれの人の立場や意見を理解したうえで、共にひとつのものを創りあげようとするができる |
| | | 1. 「共創性①」について、上記のように回答した根拠を教えてください。一部の項目だけに該当する根拠でも構いません。 |
| 2. 共創性② | | 未知の問題を考えることを楽しむことができる |
| | | 複雑な現象を、粘り強く考え解き明かそうとすることができる |
| | | 自分の力で世界を変えるような新しい技術や考え、価値を生み出したいと思う |
| | | 自らの学習過程を振り返り、経験から学ぶことができる |
| | | 挫折や困難な状況から、気持ちを立て直すことができる |
| | | 2. 「共創性②」について、上記のように回答した根拠を教えてください。一部の項目だけに該当する根拠でも構いません。 |
| 3. 科学的探究力 | 1. 科学的に捉える力・自然界への関心 | 自然や科学への興味関心がある |
| | | 身近な事象を、科学の視点で捉えることができる |
| | | 教科書を超えて、専門書や雑誌、論文を読み、自分の関心を広げたり、深めたりすることができる |
| | 2. 課題を発見する力 | 授業等を通して、より深く調べたいと考える部分や納得できない部分に気づくことができる |
| | | 関心ある事柄について、その問題の本質を発見したり原因を説明したりすることができる |
| | | その問題がどのくらい重要であるかを、根拠に基づいて考えることができる |
| | 3. 仮説を立てる力 | 疑問に対して複数の仮説を立てることができる |
| | | 実験を経て導き出した結論をふまえて、新しい仮説を立てることができる |
| | 4. 検証する力 | 仮説を確かめる方法（実験、調査、観察、モデリング、シミュレーション等）を設定することができる |
| | | 仮説を確かめるために設定した方法を実行することができる |
| | | 仮説を確かめるため、データや情報を、信頼性を確認しつつ収集することができる |
| | | データや情報を、複数の観点から考察することができる |
| データから、論理的に結論を導き出すことができる | | |
| 研究結果を踏まえて、さらに課題を見出し、研究を進めることができる | | |
| 3. 「科学的探究力」について、上記のように回答した根拠を教えてください。一部の項目だけに該当する根拠でも構いません。 | | |
| 4. 表現力 | データを、適切な図や表、文章にまとめることができる | |
| | 生じている問題やその解決策について、知識や経験を通して説明できる | |
| | 自分の発表に対する質問に適切に回答できる | |
| | 目的やメディアや機器の特徴に応じ、適切に選択し使用できる | |
| | 4. 「表現力」について、上記のように回答した根拠を教えてください。一部の項目だけに該当する根拠でも構いません。 | |
| 5. 国際性 | 海外の高校生との研究交流に意欲がある | |
| | 自分の意見や考え、探究の成果を海外の人にも伝えたい | |
| | 将来、留学や海外への進学を考えている | |
| | 将来、自分の個性や能力を活かして国際社会に貢献したい | |
| | 5. 「国際性」について、上記のように回答した根拠を教えてください。一部の項目だけに該当する根拠でも構いません。 | |
| 6. 取組全般 | SSHの取組を楽しむことができた | |
| | SSHの取組を通じて、自分の成長を実感できた | |
| | ともに高め合いたい仲間や目標とする人を見つけることができた | |
| | SSHの取組を通じて、科学的に探究する力が向上した | |
| | SSHの取組を通じて、ICTを活用する力が向上した | |
| | SSHの取組を通じて、プレゼンテーション能力が向上した | |
| | よりよい社会を創るために、リーダーシップを発揮したい | |
| 6. 「取組全般」について、上記のように回答した根拠を教えてください。一部の項目だけに該当する根拠でも構いません。 | | |